

10年5月21日市警ニュース

### JSS和訳

#### 安全なロングウィークエンドのために

5月のロングウィークエンドは伝統的に、夏のドライブないしは旅行シーズンの始まりと考えられている。今週末はさらに、全国の各警察が酒酔い運転、安全ベルトないしは座席補助器具の正しい使用、さらに無謀運転に焦点を絞っている「全国交通安全週間」期間中にも当たっている。

トロント市警は、市が提供している全てを、訪問者や住民が楽しめるようにすることに注力している。道路利用者の安全は、この時期に限らず年間を通じて、重点事項である。

どの週末でも市警は RIDE (Reduce Impaired Driving Every where) の一斉取締り、シートベルト不使用ないしは無謀運転の取り締まりを実施している。

本年これまでに交通部は、死亡事故 18 件、命に関わる重傷事故 27 件を調査した。

死亡ないしは命に関わる重傷事故の要素としては、

- 同乗者の安全補助器具（安全ベルトなど）の不使用が 2 件。
- 速度違反が 10 件。
- アルコール関連が 8 件。

が数えられている。

州内でトロントは、交通が最も安全なところの一つだ。これは厳重な取り締まり、道路利用者に対する教育、そして道路利用者による安全遵守によって実現されている。

しかし安全性の向上の余地はまだまだある。市警は皆さんの協力を得て、トロントの路上での事故件数、傷害ないしは死亡数を減らすことが出来ると考えている。

### JSS説明

記事で市警が述べている、夏のドライブシーズンないしは旅行シーズンの開始は、自動車の利用頻度の増加を意味し、さらにそれに伴う事故発生頻度の増加を意味している。

当地ではこの時期および夏休みが始まる時期、新学期が始まる 8 月末から 9 月にかけてと年末の繁忙期、さらにスポーツなどのビッグイベントが行われる時などに集中した交通安全取締りが行われる。

当地の大きな流れとしては、交通事故そのものや事故による死亡者数などは漸減の方向にあり喜ばしいことであるが、絶滅とは程遠い状況にあることも然りで、十分な注意が必要である。この記事が出た 21 日の翌日から始まったロングウィークエンドの 2 日目、5 月 23 日の日曜日には、ピール郡、およびヨーク郡で起きた別個の事故で男性 2 人が死亡し、男女合わせて 5 人が傷害を受けたと、グローブアンドメール紙が報じている。

23 日の午前 2 時 30 分にヴォーン市のメジャーマッケンジー通りで起きた事故では、44 才の歩行者が車に撥ねられ死亡、撥ねた車はそのまま逃走した。

さらに午前 5 時にエリンミルズ通り・バトルフォード通りで起きた事故では、バンに正面衝突した車を運転していた 34 才の男性が死亡、バンに同乗していた 12 才の少女が生命の関わる重傷を負い、他の 3 人の同乗者も重傷を負ったと言う。

この種の事故では、自身が巻き込まれないしは当事者となる可能性は決して低くない・・・と認識し、安全運転に専心しよう。